

田中芳男 （幼少）博物學者、農政家。天保九年八月九日信濃國生れ、大正五年六月二十一日歿（八三―一九一六）。幼名芳介。尾張で伊藤圭介の門に入る。慶應三年パリ萬國博覽會や日本物産を紹介、明治四年には本邦初の博覽會（物産會）を東京九段坂上で開催、また東京帝國博物館館水産部を主宰しり。文部省教科書編輯官、内務權大書記官、農務局長、元老院議員、貴族院議員等擔任。帝國學士院會員、男爵。田中義廉の兄。

著書 『大日本農史・今世』（鐵田完之共訂、農務局纂訂、明治二十四年七月農商務省藏版、博文館）、『五十名家送贈録』（公著、平田哥仙撰、明治二十一年十月十三日平田勝馬刊、鐵華書院）等。村沢武夫著『近代日本を築いた田中芳男と義廉』（昭和五十二年十一月二十五日長野・田中芳男義廉顕彰会）刊。

